

絆



熊本県 高森町

熊本阿蘇「野の花と風薫る郷」

議会だより

12月定例会



12月定例会	2
町政を問う（一般質問）	6
第4回臨時会	13
常任委員会報告	14
町民の声	15

リニューアル!

No.91

令和6年2月発行

穏やかな1年を願って — 高森阿蘇神社にて —

令和5年 第4回12月定例会

議案12件を審議し、
全て原案のとおり可決しました。

令和5年度一般会計補正予算(第5号)

5億9,449万5千円を追加

予算総額 86億7,852万円

議 決 結 果

議案番号	件 名	議決結果
議案第55号	高森町国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第56号	高森町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第57号	高森町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第58号	高森町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第59号	高森町ふるさと応援基金設置条例の一部改正について	原案可決
議案第60号	高森町一般職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第61号	令和5年度高森町一般会計補正予算について	原案可決
議案第62号	令和5年度高森町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第63号	令和5年度高森町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第64号	令和5年度高森町介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第65号	令和5年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第66号	高森町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決

国・県補助事業

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援追加給付金

●デフレ完全脱却のため総合経済対策として、住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり7万円を追加給付します。

支給
対象者

○住民税非課税世帯

基準日において世帯全員の令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯。

※但し、租税免除者や住民税が課税されている者の扶養親族等のみからなる世帯を除く。

給付額

1世帯あたり **7万円**



給付の
方法

①対象世帯に支給案内通知書、支給拒否届、口座変更届出書を送付する。

②返送期限日までに拒否届の提出がない場合は、受給を承認したものとみなし
過去に同様の給付金を支給した口座への振込を実施する。

(口座変更届出書の提出があった方は、変更後の口座へ支給)

財源

国の「新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金」を活用予
定(交付上限あり)

事業費	補助額	町の負担
7,252万円	5,533万円	1,719万円

ふるさと納税活用事業

高森駅前賑わい創出物販車購入負担金

●高森駅前の賑わい創出と町の更なる活性化のため、物販車を購入します。

事業の
目的

ふるさと納税の使途意向に沿った「観光」「まちづくり」に合致する事業であり、本年度の南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発事業完了を見据え、高森町の特産品等を販売する物販車を購入し、更なる駅前の賑わい創出を図る。

事業内容

①高森町内の物産品を取り揃える「物販車」の購入

⇒駅前に常駐し、地域おこし協力隊などによる販売を実施。

②町内のイベント時における販売活動

③有事の際における町内への物品配布 など



その他

(一般社団法人)高森観光推進機
構に対して、車両購入に係る経費を
負担金として支出する。

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
400万円	400万円	0円

ふるさと納税活用事業

たかもり時空和ベース改修工事

●次年度以降、高森高校生の受入れを強化するために、町営学生寮を改修します。

事業の目的

ふるさと納税の使途意向に沿った「高森町ならではの元気な人づくり事業」、「エンタメ業界と連携したまちづくり事業」に合致する事業であり、マンガを活用した高森高校の魅力向上に関する連携協定及び高森町の地方創生と高森高校の魅力向上に関する連携協定により町営寮を改修・整備する。

現状と課題

- ・ オープンスクールに昨年度比1.3倍の参加があり、県内外からの進学希望者が増加。
 - ・ 当初の想定を超える女子の志望者が多いことが判明。(約85%)
- ⇒次年度以降の高校生（特に女子）の受け入れが困難な状況となっており至急対策を講じる必要性がある。



事業内容

現男子寮施設と女子寮施設の入替え
⇒セキュリティ対策、衣類乾燥設備設置、プライバシー対策など

事業費	ふるさと応援寄附金	町の負担
865万円	865万円	0円

(令和5年12月14日)

高森町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

高森町役場職員の当直業務中における飲酒事案について、第三者による懲戒審査委員会の審査報告に基づき、管理監督義務違反等により総務課長を戒告の懲戒処分、該当者には口頭による厳重注意が行なわれており、最高責任者である町長の給与月額を令和6年1月から6月までの6カ月間、10分の1減額するものであり、審議の結果原案のとおり可決した。

令和5年12月定例会 主な質疑応答

議案59号

高森町ふるさと応援基金設置条例の一部改正

質疑 「佐伯金也議員」

南阿蘇鉄道の永続的運行に係る事業について、今後のふるさと納税返礼品としての戦略は。

応答 「政策推進課長」

トロッコ列車の模型等を返礼品に加えており、送料等の経費がかからない乗車券等も積極的に活用する。

議案60号

高森町一般職員の給与に関する条例の一部改正

質疑 「佐伯金也議員」

他の産業と比べながら給与改定すべきであり、人事院勧告がメインではあるが、ちなみに熊本県人事委員会メンバーの職業は。

応答 「総務課長」
承知していない。

要望 「佐伯金也議員」

人事委員会が役場のことをどのくらいご存じか、現状に相応しい給与の上げ幅を出されているのか疑問である。給与改定とともに通勤手当等各手当の見直しを要請する。

議案61号

令和5年度高森町一般会計補正予算

質疑 「後藤巖議員」

新型「コロナワクチン集団接種」が終わった後のフォロワー体制は。

応答 「住民福祉課長」

11月末で集団接種が終了、今年度末まで国・県が引き続き相談窓口を開設、住民福祉課でもワクチンの管理及び病院への搬送、健康相談等は、引き続き対応する。

質疑 「後藤三治議員」

高森高校第2グラウンドは災害時の対応を最優先し、通常時は社会体育施設として活用することだが、出来れば青写真的なものを示していただきたい。

応答 「総務課長」

軟式野球、硬式野球、サッカーなどの競技が使用可能なものと想定している。

質疑 「後藤三治議員」

バックネットは撤去するか。災害時の車中泊を想定した場合、強固な地盤を保っていないければ車が入れないのでは。

応答 「教育委員会事務局長」

災害廃棄物の一時仮置き場などを想定している。また、バックネットは残し、現存機能を維持したまま改修する。

質疑 「佐藤武文議員」

戸籍住民基本台帳費のシステム改修による改善の内容は。

応答 「住民福祉課長」

戸籍及び附票に送り仮名の追加と住民基本台帳システムのローマ字表記に関する改修のため。

応答 「町長」

追加説明として、戸籍や住民基本台帳システムは住民にとって非常に大事なツールであり、行政にとって使いやすく間違いがないシステムの改修により、住民に安心していただくための予算計上であることをご理解いただきたい。

質疑 「佐藤武文議員」

公共土木施設災害復旧費550万円計上分の財源内訳は。

応答 「財政係長」

中園老良原線道路災害復旧工事550万円のうち、単独災害復旧費事業債180万円計上分は既に予備費で対応しており、今回歳入で地方債620万円、歳出は550万円を計上し、予備費対応分があるため一般財源が430万円減額となった。



児玉 幸之助 議員

■ 高森中央学園構想と社会体育施設の整備

■ 高森町高校生議会の活性化

質問

令和5年度高森総合教育会議の高森中央学園の位置付けは。

教育委員会 事務局長

総合教育会議を、令和5年8月17日に開催。「高森中央学園義務教育学校構想」を議題とし、「高森町立小・中学校統合等審議会条例」に基づいた審議会を設置。

これまでの検討会から格上げした議論を求めるとされる。町長部局、教育委員会において、統一した理解及び方向性、方針に至っている。

質問

今年度以降の高森中央学園構想の進め方や方針は。

教育長

将来にわたり校区の子どもに、より良い学びの環境が継続して確保され「コミュニティスクール」を基盤とした小中一貫教育」を重要教育政策と位置付けている。現段階で必要と捉えている主な検討事項は、校区の児童・生徒数の推移予想及び適正学級数と適正教科担任教職員数、現高森中学校敷地内に施設一体型の校舎を設置する際の施設規模及び建設スケジュールに加え、事業費算定、開校目標年度の設定、通学距離が増える対象児童生徒への対応、統合時期にあたる児童生徒への配慮方針、高森中央小学校跡地利用方針がある。

着実に議論を進めていく。

質問

令和3年12月に提出された高森町公共施設あり方検討協議会によると、新たな町民体育館の建設について建築場所や時期は未定とされているが。

町長

体育館が必要なのはわかっている。30年問題や高齢化が45%をどんどん超えてくる中、今後の町民体育館の役割を見据えた上で協議していく。現小学校沿いを流れる砂防指定地域内にある中山川の特別警戒区域をクリアしなければ計画に移すことはできない。計画に移すことができるのは令和8年度以降となる見込み。しっかりと議論をして町長や議会が決めたことがどうだったのか10年後20年後に、後世に言われたときに話し合いが来ていくことがベストだと思おう。環境整備にあたっては、責任をもってしっかりと頑張っていきたい。

質問

地域活性化や、地域課題解決について提案を受ける「高森町高校生議会」の開催について町長の考えは。

町長

普通科グローバル探究コースの設置目的は、世界「グロ

バル」と地域「ローカル」の視点を合わせ持ち、将来、地域貢献、国際貢献に通ずる人材の育成であると承知している。高校所在自治体である本町に対し高校生議会という教育の機会を、教育カリキュラムに編成することができ、学校全体で協力いただけるのであれば是非とも受け入れたい。高校生から地域づくり、まちづくりに対する積極的な提案や問題提起をいただきたい。



令和5年度 高森町子ども議会



■ 役場職員業務の効率化
■ UD-eスポーツの現状

後藤 巖 議員

質問 働き方改革関連法案を
意識した役場職員業務
の効率化に対する取組み、業
務の外部委託、一部委託、A
I機器導入による業務時間軽
減など検討したことがあるか
尋ねる。

会計課長 会計課では、現金・有
価証券などの出納及び
保管に関すること、支払いに
関する書類の確認・審査に関
すること、決算の調整に関す
る業務を行っている。
業務委託については実際に
行っている自治体への聞き取
り調査、また外部委託可能な
業務内容の精査などの検討を
行っている段階である。

税務課長 税務課における窓口業
務は、各種証明書の交
付、税申告書類の收受である。
証明書交付は自治体間や関係
機関との情報処理システムが
構築され、窓口の対応件数は
減少傾向であり、独自の外部
委託は行っていない。

今後はデジタル化をすすめ
業務効率や行政サービスの向

上に努めていく。

福祉課長 窓口業務において、外
部委託やAI機器の投
入は検討していない。
住民サービスの向上と業務
の効率化のため、書かない
窓口への導入の準備をしてい
る。

導入により住民が申請書を
書く手間を省略、まずは住民
票と印鑑証明の発行業務につ
いて導入予定である。

質問 子ども議会
で提案が
あったUD（ユニバー
サルデザイン）eスポーツの
現状について尋ねる。

推進課長 通いの場事業のメ
ニューの一つとしてU
D-eスポーツを令和5年7
月より導入している。本体や
コントローラーなど機器を1
台購入。価格は約10万円であ
る。ゲームソフトの使用料は
月額3万3千円である。
運用はこの1セットを健康
推進支援員が持ち回ってい
る。今後、地区や他市町村と
の対戦をする場合、機器破損

のリスクも考えると、複数所
持が望ましい。複数導入には
機器購入費、ソフトのランニ
ングコストがかかり、町の財
政を圧迫することがネックで
ある。

質問 子ども議会では町長の
方より逆提案があった、
生徒が主体となったソフトの
開発について、また支援に対
する取組みを尋ねる。

町長 子ども議会の内容が非
常にハイレベルで、起
承転結をきちんと持っている
提案であった。そこで3点提
案をした。一つはプログラミ
ング教育を受けているので、
教育を活かした独自のゲーム
ソフトの開発、開発した際に
対価を受ける可能性がある点、
ソフト開発で自分たちの技術
の有用性、会社の立ち上げな
ど夢を持つ生徒が出てくれば、
教育の集大成として全国に誇
れる事例になるのではと答弁
をした。

その後、教育長に本気でや
りたいので検討をお願いした

ところ、プログラミング教育
でお世話になったIT企業と
コンタクトをとり、生徒たち
によるソフト開発の一助とな
るよう、技術支援が可能とい
う答えを得た。
具体的には令和6年度、オ
ンライン講座で生徒の意欲調
査、課題の構造化などを行い、
高森中学校、高森東学園義務
教育学校出身の高校一年生及
び本町中学生を対象に、夏休
みに集中講習期間を設ける計
画に着手する。

成功体験を経験すること
で、学びの深まり、将来の起
業マインドの醸成、育成に繋
がっていくと考えている。



UD-eスポーツ

産業厚生常任委員会行政視察研修
本町の子育て支援センター



後藤 三治 議員

質問 本町の子育て支援センターは、車通りが多く道路に面した一角の、旧信用組合跡地を利用している。施設内は銀行的機能から殆どが壁で、窓等がなく閉鎖的環境にある。更にセンター外には園庭や遊び場の施設もなく子育て支援センターからは程遠い施設となっている。

本町の子育て支援センターは平成26年度開設と聞いていますが、子育て支援センターをこの場所にした経緯は。

福長 住社課長 当時、役場の隣接地や既存の施設を利用する意見もあったが、役場隣接地は用地の確保が難しく、熊本県信用組合高森支店が移転し跡地を借りられることから、利用者の利便性を考慮し、現在の場所となった。

質問 開所後の園児数・スタッフの推移は。

福長 住社課長 子育て支援センターは特定の園児とは限定せず、不特定多数の方が利用できる。開所後の利用者は、平

成26年度以降、各年度平均、1600人から2000人の方が利用されている。更にスタッフについては、「高森町子育て支援拠点事業実施規則」で、児童の育児及び保育に関する知識と経験を有するもの3名を置くこととなっていることから、開所以来保育士や幼稚園教諭の資格を持つ3名で運営してきた。

質問 9月定例会の全員協議会で、子育て支援センターの移転計画があるとのことだったが、詳細を聞きたい。

福長 住社課長 子育て支援センターの建物は老朽化が激しく、また施設内も手狭な状況である。このため、公共施設の今後の利用に関する職員による検討会議で意見を集約したところ、現在、社会福祉協議会が業務を行っている「芙蓉館」へ移転するという結果となった。

理由としては、高森中央小学校や横町子ども公園などが近く、子育て支援センターの

利用促進につながることを期待される。

質問 行政視察研修に担当課長及び子ども未来係長も同行したが、本町の事業との違いは。今後取り入れる事業について計画はあるか。

福長 住社課長 大川市は約3万2千人で、本町は約6千人という人口の違い、また、人口規模に伴う施設の大きさの違いは当然あるが、私が感じた本町との違いは専門職の多さ。そのうえで、子育て支援センターが移転し、施設が拡張となった場合は、現在高森総合センターや色見総合センターで行っている乳幼児健診や1歳児相談、発達支援の相談などを子育て支援センターで行い、施設の有効活用と、町内外の利用増加に努め、土曜日・日曜日の開所も検討する。

質問 「健康いきいき&子育て楽しい町づくり」を推進させるため、今後どのような事業を考えているか。

町長 国が出している「こども未来戦略方針」では、若年人口が急激に減少する2030年代に入るまでが、少子化を反転させることができるといわれる重要な分岐点で、反転できなければ人口減少は食い止められない。本町においても、2020年代に何かしらの少子化対策をしなければ、人口はますます減少していくこととなる。このことからこれまでの対策に加え、本年度から入園祝い金や在宅育児手当などの負担軽減制度、産後ケア支援事業などをスタートさせている。



大川市のモックランド視察



■ 観光立町の施策
■ 中心市街地遊休地の利活用

甲斐 節男 議員

質問 町長の政策集では、観光立町を実現するため南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発の総仕上げを挙げているが、市街地に点在する遊休地の活用は。

具体的には中心部にある鶴屋跡地が町に寄贈されたが面積はどのくらいあるのか。

策推 店舗・蔵の跡地など約3247・12㎡ 農地6672・15㎡と360・55㎡の1万279・82㎡(約10区)である。

質問 保育園南側の農地についてはコスモスが植えられており写真を撮る家族連れを見かけた。一方店舗のほうは雑草が茂り放置状態である。

今後、跡地をどのような手法で利用計画を策定されるのか。

策推 農地に植えられているコスモスは南阿蘇鉄道全線開通後、町内の賑わい創出の一環として地域振興支援員による発案で実施したもの。

今後については高森町中心市街地土地利用検討委員会を立ち上げている。メンバーは議長を委員長に各地域の駐在員代表、商工青年部長、商工婦人部長。年度末までに町長に答申を提出する予定。

質問 利用計画から整備まで時間がかかるが、一時的なものとして取り組めないか。

町長 地域住民をはじめ多くもっている。一時的であれば駐車場などの整地は可能である。また、フリーマーケットや移動販売の場所として提供することはできる。農地部分については、具体的な整備計画がないと農地転用許可がおりない。

質問 今後、ますます観光客が増えると思うが、物産品や食べ物を提供する場所がない。コンテナなど貸し出し多目的広場として整備するのはどうか。

町長 コンテナ店舗については比較的移設も簡単だと思うが、いずれにしても土地を整地しないとできない。今後、担当課と協議して返答したいが、高森町中心市街地土地利用検討委員会の答申が大前提である。

質問 駅を拠点とした観光立町の実現に向けた今後の具体的な方策は。

町長 議会に高森町のみの商品を提供する販売カー設置を提案している。

政策集にもあげているが夕日が見える終着駅をコンセプトにしている。できれば宿泊していただき、各地域のあらゆる方面まで行きやすい2次交通の充実に向け、地元の方々の意識づけや意欲的に参加できる仕組みを仕掛けていく。ポイントごとに拠点があり、なおかつ行きやすく帰りやすいのが一番。小中高生が町の中にたくさんいて、エンタメをカギとして目的目標をもった海外の方が来やすい町

づくりをしていきたい。町内でお金が回っていく仕組みづくりを議会に提案できるように施策を練り上げていきたい。



市街地遊休地



■ 高森町における自主防災組織

■ 行政の連携



白石 豊和 議員

質問 町内にある自主防災組織の現状はどうなっているか。

総務課長 行政区のカバー率は100%で24地区の防災組織が設立されている。活動としては約半数の組織が避難所開設・運営訓練等を実施

代表は、駐在嘱託員が務めているが、地区によっては設立から10年以上経過し、構成員の高齢化等で、活動が難しい地区もある。また設立しただけで活動がない組織や、コロナ等で活動が減少した組織に対しては、社会福祉協議会協力のもと、活動実施の呼びかけを行っている。

質問 各自主防災組織に位置づけられている防災士の現状と役割は。

総務課長 現在、自主防災組織の中に消防分団長経験者、消防吏員経験者、集落支援員、合わせて40名の方がいる。実

災害が発生した場合、直後に避難所開設などを住民自身の

手で行う場合、地域や職場で声掛け役となり、地域防災リーダーとして活動していただきたい。

質問 大規模災害発生時、行政と自主防災組織の連携と避難所運営について。

総務課長 現在2名の防災官を雇用し町全体の防災力向上をめざしている。災害発生時は、各地区で公民館を一時避難場所と活用している事例もある。大規模災害の場合は、長期間や大人数の避難が予想され、今以上に公民館など、地域に根差した施設の有効活用が必要である。大規模災害を想定した自主防災組織と町民参加型訓練を計画していく。

福祉課長 21か所の指定避難所を指定している。災害時、高森総合センター、色見総合センター、草部総合センター、河原総合センター、朋遊館、高森自然学校、尾下体育館、計7か所を開設し職員を配置している。

大規模になると、町だけで

の避難所を運営することが、極めて困難になると予想されるため、避難所運営マニュアルの作成に着手している。完成後は、自主防災組織と連携した避難所運営訓練を検討している。

質問 高森町における今後の防災対策をどう考えているか。

町長 防災公園の整備、役場の補正予算で高森高校第2グラウンドを整備、有事の際の避難所等に活用できるように、町全体の防災力向上を図っていく。山間部においては、病院までの距離を考え緊急時の離着を容易にできるように、順次ヘリポートの整備を行っており、ハード面は行政が行う。自助・共助の部分を強化することが大切である。公民館を拠点に訓練や講習会の要望を受ける。

また次世代の育成も大切なため、中学生等の防災検定の支援を引き継ぎ行う。



防災訓練



防災ヘリポート



■ 介護や健康を支える現場の体制
 ■ 介護を取り巻く現状及び問題点の検証

佐藤 武文 議員

質問 介護保険制度は、平成12年4月から実施されておられ、今年で24年目である。本町の介護保険事業及び介護認定者等の推移、現状及び今後の見通しは。

健康推進課 令和5年12月1日現在の高齢化率は、43・4%であり、5年後には47・5%、10年後には48・5%になる見通しである。65歳以上の高齢者人口のピークは、2025

年であり、その後は減少するが、75歳以上の後期高齢者は2035年まで増加するという推計になっている。要介護認定者は、平成27年の522人をピークに減少しており、令和5年3月現在では471人となっている。要介護認定率は、平成27年の20・9%から令和5年3月時点の18・0%と減少を続けている。

質問 介護は、施設と在宅で居宅介護支援事業所等の役割は非常に大きい。本町の居宅介護支援事業所や、介護支援

専門員等の現状、また課題について、介護保険の保険者である町としては、どのように考えられているか。

健康推進課 本町には、6ヶ所の居宅介護支援事業所があり、合計で9名の介護支援専門員（ケアマネージャー、以下ケアマネ）が勤務されているが、フルタイムに換算すると7名程度となる。

町内のケアマネは245名の要介護者を担当しているが、60名ほどは南阿蘇村のケアマネにお願いしており、ケアマネ不足は喫緊の課題である。原因は、人材不足と処遇改善が進まないためである。

質問 介護保険事業全般、特に介護支援専門員の確保対策等に対する行政の責務は。

町長 居宅介護支援事業所の指定権者である町長として、行政の責務というところは大変重く受け止めている。待遇改善を本町単独で実施することは、かなり難しいが、

個人的にも母の介護を通して、ケアマネの重要性を痛感している。この経験を踏まえて、自分の政策集にも、医療や福祉事業者を育成するための仕組みの構築というところを入れさせていただいている。

町としては、現行の制度にある報酬等が、きちんとケアマネに還元されることの見え化、事務負担を軽減する体制づくりが必要と考える。また、令和6年度の当初予算では、マニフェストに載せている介護人材確保支援事業というものを提案したいと思っている。

介護をとりまく情勢は、高森町だけの課題ではないので、強く政治の場をもって、働きかけていくべきだと思う。また、他町村の取り組み方も参考にすべきと考える。



高森町地域包括支援センター

■ 隣接自治体との共同活動 ■ 農業政策



佐伯 金也 議員

質問

本町は熊本地震を契機に災害時の共同防災や復旧活動等について、防災協定等を積極的に近隣の町村や被害が連動しない地域と連携協定している。また、生活圏連では阿蘇広域行政事務組合が管理運営している。以前、政策推進課長に尋ねた商品券等を含む経済、産業面で、隣接する南阿蘇村との連携はできているのか、その連携協議はどうなっているのか。

政策推進課長

現在、本町において、熊本市を中心として連携、携中枢都市圏事業に参画し、圏域全体の生活関連機能サービス向上や、69の事業に共同で取り組んでいる。南阿蘇鉄道の運営や、ゆるっとバスの乗り入れ経費についても費用負担を行っている。商品券の範囲についても、南阿蘇村産業観光課を通し、商工会と協議を試みたが、地域経済対策を見据えて反発も予想され、承諾は出来ないと回答を得た。

質問

南阿蘇村と連携をいかに良好にしていくのか。阿蘇と言えば温泉であるが、本町が南阿蘇村に温泉を掘って温泉館を建てる事は出来ない。そこで一緒に温泉を持つという事は可能ではないか。南阿蘇村の所有する公共温泉の経営に参画する事は出来ないか。

町長

本町が現時点で言うべき事ではない。ただ、公共施設を共同運営する事は必ず来るだろうと思う。一番大事な事は住民総意の共同運営が可能かどうかだと思う。南阿蘇村が現在公募されている。議員が言われる事を首長は首長同士で提案させていただし、結果が出た後に動けば良いと考えている。

質問

現状の農業は、生産コストの値上げや後継者不足等で頭が痛い。その中生涯現役として農業をされている高齢者の方達がおられる事も忘れてはならない。どうやって農家を支援するのか。

政策推進課長

農業の現状は平成27年を基本とし令和2年、専業農家戸数は31パーセント減少している。農業振興策として、中山間地直接払事業、多面的機能支払制度、有害鳥獣対策、優良子牛保留奨励金評会などを行っている。

質問

集落や地域を見れば、いろいろな事業で守られていくだろう。データ上、地域の中に70歳以上で、農業をされておられる方が多いという事も分かった。そこで政策として75歳以上の農業者、生涯現役の皆さんに、本町が独自に慰労金制度というものが出来ないか。

町長

現役農業者の方々に敬意を表したい。感謝の気持ちを超えて何か新しい制度が出来ないかという事だが、75歳以上の専業農家の方で、限定的な支援策で考えるべきではなく、広く行き渡るような支援策も同時に考えたい。高齢で農業をやって来られた方に絞った支援策について現



農業の現状

在実施している施策と整合性を図りながら、今後協議してしっかり検討していきたい。

令和5年 第4回臨時会

議案1件を審議し、原案のとおり可決しました。

令和5年度一般会計補正予算(第4号)

6億6,022万7千円を追加

予算総額 80億8,402万5千円

国・県補助活用事業

高森町物価高騰対策生活応援商品券事業

●電力・ガス・ガソリン・食料品等の価格高騰に係る経済対策として、町民1人あたり5,000円の商品券を配布します。

事業の
目的

長引くエネルギー価格の高騰や地域経済に与える影響の緩和を目的に、地域における消費喚起を促すため、**全町民に「高森町物価高騰対策生活応援商品券」を配布**する。

給付
対象者

基準日(令和5年11月1日)において高森町に住民登録のある者



事業内容

1人あたり5,000円の商品券(500円×10枚)を一般書留郵便にて個人宛に郵送。
※4人家族の場合5,000円×4名分=20,000円が届きます。

利用可能
時期

・年末年始に間に合うよう、12月からの利用開始を目標として、事業スキームを構築。
・商品券取扱い事業所は町内事業所を想定。(ガス・燃料代等にも使用可能)

財源

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用予定(100%補助)

事業費	補助額	町の負担
3,793万円	3,793万円	0円

総務文教常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「高森町ふるさと応援基金設置条例の一部改正」「令和5年度高森町一般会計補正予算」について各担当より詳細に説明を受け審議した結果、付託されたすべての議案を可とした。

【主な質疑内容】

質 基金条例の改正の必要性は？

答 現状の文言は全線開通までの条文であり、これから持続可能な鉄道であるための支援を目的とする変更、及びたかもり新教育プランに資す取り組み基金の条文追加である。

質 高森町多目的広場の詳細を伺う。

答 場所は県立高森高校第二グラウンドである。有事の際は災害復興住宅建設用地、ナイターを備えた車中泊対応、

災害資材置き場など多目的に利用可能。平時はグラウンドとして使用する。工期は次年度に跨ぐ事業となる。ナイター対策として近隣住民に対しカーテン設置補助事業を行う。

意見として、現在の進入路が狭く、有事の際の大型トラックの進入が難しい点の指摘があり、周辺町道の整備と共に対応を検討するよう提案がなされた。

その他として、昨年度に引き続き本年度も軽自動車税の全納を達成したと税務課より報告を受けた。税の重要性を啓蒙しつつ、引き続き業務に取り組んで頂きたいと申し入れた。

産業厚生常任委員会報告

☆会期中の委員会審議

委員会に付託された「令和5年度高森町一般会計補正予算」「令和5年度各特別会計補正予算」について担当より詳細な説明を受け審議した結果、すべての議案を可決した。

【主な質疑事項】

質 保育料還付金（保育料無償世帯から誤徴収）について

答 該当事業は熊本県多子世帯子育て支援事業で、利用者負担が軽減または無料とされるものである。その無償該当者がシステムにそのまま反映されるものでなく、担当者が1件ずつ該当者を確認し入力していたが、入力ミスにより発生した。本年9月から、町独自の事業として保育料の完全無償化を実施しており、今後は過大に徴収することを二度と起こさないよう、チェック体制を強化する。

この件に関しては、内部統制が取れないから起きた事案であり、二度とこのような事案を起こさないよう厳重に指摘した。

◎令和5年度高森町国民健康保険特別会計補正予算について

◎令和5年度高森町後期高齢者医療特別会計補正予算について

◎令和5年度高森町介護保険特別会計補正予算について

◎令和5年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算について

質 高森町簡易水道事業特別会計の給与及び委託料の内容は？

答 職員の給与改定に伴う増額の補正である。委託料については、公営企業会計移行に伴う事業システムの委託料である。



町民の声



山村 唯夫さん
(高森・下町)

あけましておめでとうございます！夏以来の南阿蘇鉄道全線復興というおめでた続きではございますが、新たな不安と不満も生まれております。

遠路からの貸切バスやマイカー運転による観光客の方々とは違い、高森駅に降り立った方々が街内を歩かれてはいるものの、【ランチ難民】に陥っている現状が浮き彫りになっています。

260年来の酒造業が家業（稼業）とはいえ、真っ昼間からの乾杯？へ過剰期待しているではありません…。せめてカフェ（喫茶店）や食堂での【やすらぎのひととき】【雨やどり】の施設が足りないようなのです。

また、駅から歩ける距離（1km圏内）に郵便局や銀行や役場、そして、教育機関があるのは素晴らしい【街】でありまして、創設75年来、未就学児童【約3,300名】を小学校へ送り続けてきた～改築35年の【高森保育園】も、熊本地震を乗り越えたものの明らかに老朽化（ダメージ）は残っていますので、その新改築（街内移転）もテーマになってきております。

以上、街に住む我々も近未来へ向け、都会？への流出を止めるべく【街づくり構想】を語り合いたいと思っています。 かんばれ～ 高森～

町民の声



山村 慎さん
(高森・旭通)

なってほしい高森町

私は、こどもの時から現在に至るまで、多くの時間を高森町で過ごしてきました。その中で、いま私がこどもの時に感じなかったこと、こんな高森町になったら良いなという思いを書いていきたい。

私がこどもの時は、スマホやインターネットが普及し始めていたものの、外で遊び勉強や部活などに一生懸命励んでいた。その頃はその生活に満足しとても充実していたと感じていた。

しかし、高校、大学と町外に出て、友人と久しぶりに会うと、高森は田舎で何もすることがないと話を聞く。

その中で、私が思ったことは、高森町で育った若者や他県の若者が、高森町に魅力を感じ戻って住んでくれる様な町にしたいということだ。

何か町と協力して出来る仕事はないだろうか？若者がここで働いてみたいと思えるような職場は作れないだろうか？とよく考える。

私は他県の人と話す機会がよくあり、「いい場所ですね」「いい町ですね」中には「移住したい」と言ってくれる方もいた。現在、高森町の人口は年々減ってきている。これから高森町で育った子どもや若者たちが高森町の魅力に気づき、この町で働きたい、住みたいという町になって行けばいいなと私は思っている。

議会の動き

	期 日	内 容	場 所		期 日	内 容	場 所	
9月	24日(日)	中九州横断道路大津熊本道路着工式	合志市	10月	28日(土)	高森中学校剣道部優勝祝賀会	高森町	
	27日(水)~ 29日(金)	阿蘇郡市議長会研修	関西		29日(日)	尾下地区事業完成祝賀会	高森町	
10月	1日(日)	追手風部屋少年相撲大会 (南阿蘇鉄道全線開通記念相撲大会)	高森町		31日(火)	総務文教常任委員会視察研修	高森町	
	6日(金)	熊本県町村議会研修	高森町	11月	1日(水)~ 2日(木)	阿蘇郡市町村議会正副議長研修	福岡県	
	12日(木)	2023秋の自治体キャラバン	高森町		10日(金)	町村議会広報研修会	熊本市	
	12日(木)	南阿蘇村・西原村・高森町合同 議員レクリエーション大会・意見交換会	南阿蘇村		18日(土)	高森町老人クラブ健康づくりスポー ツ大会	高森町	
	13日(金)	かたらんネ！阿蘇	熊本市		22日(水)	高森町子ども議会	高森町	
	14日(土)	高森町老人クラブ演芸大会	高森町		28日(火)~ 30日(木)	町村議会議長全国大会	東京都	
	20日(金)	高森町立学校公開授業	高森町		12月	1日(金)	「赤い羽根」チャリティーミニバ レー大会	高森町
	24日(火)	奈良県五條市議団視察受け入れ	高森町			7日(木)~ 14日(木)	第4回高森町議会定例会	高森町
	24日(火)~ 25日(水)	全国町村監査委員研修	東京都	9日(土)		スマイルフェスタ in たかもり	高森町	
		27日(金)	阿蘇市町村議会議員研修	小国町				

令和5年度 阿蘇市町村議会議員研修会

10月27日JA阿蘇小国郷中央支所で、阿蘇市町村議長会主催の研修会に全議員参加した。

1部は、「北里柴三郎のひととなり」と題し、北里柴三郎記念館館長 北里英朗氏による講演で、柴三郎博士の業績、言動から改めて偉大さを実感するものとなった。

2部は、熊本県（商工労働部産業振興局企業立地課）半導体立地支援室室長 吉仲範恭氏による、TSMC進出に係る現状等について説明を受け、今後阿蘇全体としてどのように関わるのか考えさせられた。（文責・武田 栄喜）



編集後記

慌ただしい年末年始を終え、幾ばくかの時が過ぎ、暦では、春を迎えております。

しかしながら、高森では、これからが厳冬期。体調管理に留意しつつ、本年もお過ごし下さい。

(武田 栄喜)

議会広報特別委員会

議 長 牛嶋津世志（発行責任者）

委 員 長 後藤 巖

副委員長 児玉幸之助

委 員 白石 豊和

委 員 武田 栄喜